



日本の学校生活
活用事例

DISC1

映像編 第1章① (導入映像)
「挨拶・主なコミュニケーション」

「日本語であいさつしよう」

学習内容

日本語でのあいさつ 表現の仕方

学習の目標

- ・簡単な表現で挨拶や返事、やり取りができる。
- ・平仮名を読んだり、書いたりできる。

活用する「東京の学校生活」の主な教材



DISC1 映像編
第1章①
導入映像





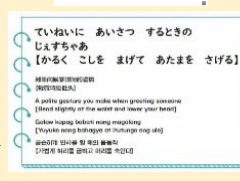


DISC2 資料編
たのしい がっこう
(中国語)



DISC2 資料編
多言語カード PDF
「挨拶ことばカード」

学習の流れ (例)

	主な学習内容・活動	指導内容	教材
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京の学校生活」映像編や資料編から挨拶の名前や方法を知る。 「わたしは〇〇です。」 「よろしくおねがいします。」 「おはよう。」 「さようなら。」 の言い方を練習する。 	<p>「おはよう。」「おはようございます。」と、言い方が異なる理由について考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、映像を止めたり、繰り返し視聴したりし、練習させる。 	 <p>資料編 たのしい がっこう P2</p>  <p>映像編 第1章① 2分22秒～3分42秒 5分36秒～6分12秒</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京の学校生活」で、類似場面の映像を視聴し、やり取りを確認する。 「〇〇をかしてください。」 「どうぞ。」 「ありがとう。」 「どういたしまして。」 (いいよ。)(うん。) (だいじょうぶ。) ・「おじぎ」の動作について知る。 	<p>相手にお礼を言うときは、「ありがとう。」と伝えることを理解させるようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じような意味でも、使う相手や場面によって、日本語には丁寧な表現を使う場合があることを理解させる。 <p>丁寧に挨拶をする時に行う「おじぎ」の動作について説明する。</p>	 <p>映像編 第1章① 1分36秒～2分5秒 5分6秒～5分26秒</p>  <p>資料編 たのしい がっこう P11</p>  <p>資料編 多言語カード PDF 「挨拶ことばカード」</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・「分かります。」「分かりません。」の言い方の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒にクイズを出し、答えが「分かる。」「分からない。」を表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉のカード
4	<ul style="list-style-type: none"> ・文字「し・あ・い・う」を、筆順に気を付けて書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「し」と「あ」、「い」、「う」を組合せて「あし」、「いし」、「うし」ができることを示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名練習ノート ・平仮名カード ・イラストカード

